



**相談室の窓**

**学 生 相 談 室 か ら の お 知 ら せ**

**12月**

**学生相談室**

**大学生活は友人関係が一番！——新入生アンケート集計結果発表——**

半年ほど前、4月3日に実施した「学園生活オリエンテーション」の席上で、新入生の皆さんにアンケートへの協力をお願いしました。その結果がまとまりましたので報告します。

回答者数 1,743人

多摩校舎一年生の約30.9%の人から回答があったことになります。

**問1 中央大学に入学して満足している？**

とても	29.8%	全然	1.4%
そこそこ	59.1%	無回答	0.7%
あまり	9.0%		

**問2 中央大学を選んだのは？（2つ選択）**

社会的評価が高い	18.0%	学生生活をエンジョイできそう	16.9%
自分の実力（偏差値）	18.2%	他に合格しなかった	9.4%
就職・将来を考えて	25.9%	何となく	8.8%
自宅から通学可能だったから	11.1%	無回答	7.8%
専門教育内容が充実している	16.5%		
教養教育が充実している	17.2%		

**問3 今の学部（学科）を決めるにあたって事前に内容を**

具体的によく知っていた	10.7%	特に知ろうと思わなかった	4.6%
一応の知識はあった	60.9%	無回答	0.8%
殆ど知らなかった	22.9%		

中央大学に入学したことへの満足度は高く、（昨年の同様の質問に対する回答と比較すると、「とても」が増え、「そこそこ」が下がっている。）最近の就職難を反映しているのか、「**就職・将来**」を考えて中央大学を選択したと答えた人が、昨年と比べ圧倒的に増えています。また、「**専門教育**」と回答したのが意外に少数で、昨年の結果よりも学部の内容を「殆ど知らなかった」と答えている人が増えているのも気になるところです。

**問4 入学後にしたいこと**

（1）専門の勉強

とても	58.7%	全然	0.7%
そこそこ	36.0%	無回答	1.0%
あまり	3.6%		

（2）教養を身につけたい

とても	60.6%	全然	0.7%
そこそこ	34.0%	無回答	1.0%
あまり	3.7%		

(3) 遊びたい			(4) よい友人を作りたい				
とても	35.3%	全然	1.8%	とても	82.4%	全然	0.6%
そこそこ	53.0%	無回答	1.0%	そこそこ	14.6%	無回答	0.9%
あまり	8.9%			あまり	1.4%		
(5) サークル活動			(6) ボランティア活動				
とても	38.7%	全然	2.8%	とても	8.7%	全然	13.4%
そこそこ	48.0%	無回答	0.9%	そこそこ	36.7%	無回答	1.1%
あまり	9.5%			あまり	40.2%		
(7) 留学をする			(8) 資格を取る				
とても	17.4%	全然	29.9%	とても	55.4%	全然	2.2%
そこそこ	24.7%	無回答	1.2%	そこそこ	32.8%	無回答	1.3%
あまり	26.8%			あまり	8.4%		

希望にあふれた入学当初の調査であることを割り引いても、**勉強に対してまじめに取り組もうとしている姿**が読み取れます。(専門よりも教養のほうが高い数字を示しているところが面白いと思いますが。)しかし、問3の回答での「事前に学部の内容を殆ど知らなかった」人の増加とはチグハグな感じがします。

何よりも「**大学生活でもっとも大切なことは友人作りである**」という気持ちをはっきりと表れた結果です。

遊びは「そこそこでいいかな?」とっていて、サークルは「友人作りの場」としてあまり期待していないのか、気軽に楽しみたいということか、少し消極的な結果。ボランティア活動、留学などは更に消極的です。資格への関心はあるものの、昨年よりも少し「とても」「そこそこ」のポイントが下がっています。(問2の「就職・将来を考えて」中央大学を選んだことと「資格」との関係はどうなのでしょう?)

**問5 人生の目標は?(2つ選択)**

幸福な家庭生活	42.3%	のんびりに気楽に暮らす	29.3%
趣味に合った生活	30.2%	高い社会的地位	7.5%
経済的に豊かな生活	21.4%	自分の能力を發揮する	46.3%
社会のために役立つ	19.3%	無回答	3.7%

「幸福な家庭生活」と「自分の能力を發揮」に高い数字が出ています。社会に役立つため献身的に努力することや、ステータスを求めるのではなく、**自分に合った心地よい状態を求め、無理なく等身大の能力を發揮する場を求めている**傾向が見られるように思います。

**問6 親友の数は?**

いない	11.3%	4人	8.0%
1人	12.0%	5人	6.0%
2人	20.5%	6人以上	18.0%
3人	21.9%	無回答	0.1%

**問7 自分の悩みを誰に相談したいと思いますか?**

父	2.7%	大学の先生	1.5%
---	------	-------	------

母	7.2%	カウンセラー	1.5%
兄弟	2.6%	自分で解決する	16.7%
友人	56.4%	その他	4.1%
先輩	2.9%	無回答	4.2%

**問8 現在学生相談室に相談したいことが**

ある	12.3%
ない	85.8%
無回答	1.9%

**友人に対する期待度が高い**ことが表れている結果です。親友の数は2－3人(6人以上が18%もいるのは驚きですが)というところで、悩みは圧倒的にその友人に話したいと思っている。友人以外では、「自分で解決する」と答えた人が多く、父母など、自分より上の世代には信頼度が低いということなのではないでしょうか？

この新生生に対するアンケート調査は、「個」をサポートする学生相談室であっても、よりよい活動を行うためには「全体的な傾向」をとらえることが必要であると考え実施しました。もちろんここであげた傾向が皆さんのすべてを物語っている訳ではありません。また、少数意見のなかにも私たちの参考になるところが数多くありました。アンケートに協力してくださった皆さんに心から感謝いたします。



## **アルコール・パッチテストの報告**

### **理工学部学生相談室**

去る、10月25日(水)午前11時30分から理工学部校舎6号館1階ロビーにおいて、1997年5月の第1回目から数えて、今回で通算8回目のアルコール・パッチ・テストを保健センター理工学部分室の協力を得て開催しました。

催し物の開催で関係者の期待の1つは好天に恵まれることである。しかし、当日は生憎の雨天となり、参加者の出足が心配で、重い気持ちになるのを振り切って準備に入った。

設営は早々と完了し、開始時間を待つ間、心なしか通りかかる学生数がいつもより少ないように感じられ、不安は益々高まっていた。判定に立ち会って下さる医師を始め、保健センター理工学部分室のスタッフの方々が揃い、受付時間きっかりに開始した。はじめの10分間程は受け付けをする人はポツポツと疎らな状態でスタッフの人数が目立っていたが、2時限目が終わる頃になって、次第に通行量が増えはじめ、お昼休み中は受付に列ができるようになり、結構忙しくなっていた。春・秋2回の開催で、それぞれ受付時間を変更して、多様な時間帯で受診できるように配分しているのであるが、この昼休み時間の活用は短時間で高い効率が増えるメリットがある。

春と異なり、今回は1年生でもアルコール・パッチテストについての一応の認識は出来ている様子で、前回何らかの理由でしなかった者の受診である。それでも初めての学生にとっては、若干の不安があるようで「どうしたらいいのでしょうか?」「時間がかかりますか?」「注射をするの?」「痛い?」など、様々な問い掛けをしながら列に加わる人も大勢いました。一方、既に何回か経験している(?)らしい学生は、過去の酒飲みの回数によって、体質が変わったのではないかと言いな

がら受けている人、飲める量を計ってほしいと言いながら受ける人と様々な光景が見受けられました。受ける目的はそれぞれ違っていても、アルコールに対する自分の体質を理解しておくことは大切なことだと思います。今後、どのようなアルコールに関わっていくかが問題となります。「一気飲み」が体に悪いことは、全ての人が理解しているはずですが、これによって、大事故に発展してしまうことが、後を絶たないのも実態です。飲み方によっては、楽しく時間を過ぎることができずし、また、コミュニケーションの潤滑油として効果があると考えられます。催しを通じて、日本人に及ぼすアルコールの作用を正しく認識してもらうことも目的の1つである。短い休憩時間にも関わらず、アルコールに関する掲示類を熱心に読んでいる人たちを見て大変励まされた。

今回、授業やその他の催し物で、受けることのできなかった学生から、今度は何時やるのですかという質問もありました。次回も、大学祭・新歓祭などの折を見計らって開催していきたいと思えます。

今回のアルコール・パッチテストの受付者総数は231名、そのうち判定者は201名（30名は自己判定者と思われる。）でした。受付の段階でのアンケートによれば、「少しは受け付けるタイプ29.4%」・「受け付けないタイプ34.8%」「わからない35.8%」に対し、判定後は「少しは受け付けるタイプ51.7%（104名）」・「受け付けないタイプ44.8%（94名）」・「不明1.5%（3名）」という結果がでました。

受付段階の自己判断とパッチ・テスト判定後との関連性については、受付段階では「少しは受け付けるタイプ」と答えのうち76.3%が「少しは受け付けるタイプ」と判定され、「受け付けないタイプ」と答えのうち71.4%が「受け付けないタイプ」と判定された。また、「わからない」と答えのうち56.4%が「少しは受け付けるタイプ」と判定された。

以上のことから、自分が「少しは受け付けるタイプ」か「受け付けないタイプ」かの自己判断とパッチ・テストの判定が、必ずしも一致するとは限りません。自分では飲めるタイプと置いていても、実はそうではない体質もあるようです。アルコールに対しては、常に無理な・無茶な飲み方をせず、適量を守って飲むように心掛けてほしいと思えます。

#### 〈受診後の感想〉

##### 1. 少しは受け付けるタイプ

- ①以前からやってみたかった。
- ②飲み過ぎないように注意したい。
- ③今後の役に立ちそうだ。
- ④意外に大勢の人が受けているので良いと重う。今後も是非続けてほしい。
- ⑤自分の体質を知るのは良いことだ。
- ⑥日頃興味があり、命にかかわることなので体験できて良かった。
- ⑦自分の飲めるペースの参考になった。
- ⑧自分のお酒が飲める体質かどうかが目安としてわかったので良かった。飲み過ぎに気を付けたいと思う。
- ⑨急性アルコール中毒を事前に防ぐ良い行事だと思いました。
- ⑩1年生の時は受け付けない体質だったが、この前のパッチテストでは受け付けない体質になっていた。やっぱり体質とか年齢は関係があるのでしょうか？

##### 2. 受け付けないタイプ

- ①簡単なテストで判断できるのでおもしろかった。
- ②自分は、飲めない体質だと今現在思っているので実際はどうかよく知っておきたいと思えます。
- ③やっぱり弱かった。
- ④サークルのコンパでよく飲まされるので、自分が飲めるのかそうでないかを知りたかった。簡単にテストができるのでやりやすくて良かった。
- ⑤以前からやばめだと思っていたのでできて良かった。

- ⑥何で、あんな者を貼っただけでわかるのか不可思議だった。
- ⑦本当の事がわかる。
- ⑧飲める体質か飲めない体質かわからなかったのが、いい機会だとも思う。
- ⑨酒の強さを知るの大切だと思う！
- ⑩一気飲みをしないよう気を付ける。

**【判定者内訳】**

	男子				女子				不明				合計			
	－	＋	不明	合計	－	＋	不明	合計	－	＋	不明	合計	－	＋	不明	合計
1 年 生	43	34	1	78	3	4	0	7	0	0	0	0	46	38	1	85
2 年 生	24	26	0	50	6	6	1	13	0	0	0	0	30	32	1	63
3 年 生	17	13	0	30	1	1	0	2	0	0	0	0	18	14	0	32
4 年 生	2	1	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	2	3	0	5
5 年 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 年 生	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
大学院1年生	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
大学院2年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教 職 員	3	3	0	6	1	2	0	3	0	0	0	0	4	5	0	9
不 明	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	3	4	0	1	5
合 計	91	78	1	170	11	16	1	28	2	0	1	3	104	94	3	201

備考．－：少しは受け付けるタイプ

＋：受け付けないタイプ

# 櫻井よしこ講演会

～ジャーナリスト櫻井よしこが世紀末を斬る!～

日 時：12月6日(水) 午後3時より

場 所：多摩キャンパス 8号館 8203号室

テーマ：「日本の危機」

★司法改革を斬る！

★外交政策を斬る！など

主 催：櫻井よしこ講演会実行委員会

問い合わせ先：090-3689-1026（渡部）

**入場無料**

